

審議会等の会議録

審議会等名	令和5年度第2回海老名市社会教育委員会議
開催日時	令和5年8月4日（金）10時から11時30分まで
場所	えびなこどもセンター 201会議室
出席者	<p>社会教育委員7名 山田議長、橋本副議長、金田委員、栗山委員、佐藤委員、 中谷委員、中野委員</p> <p>事務局8名 教育長 伊藤 文康 教育担当理事 小宮 洋子 教育部長 中込 明宏 学び支援課長 松本 晃子 学び支援課主幹兼学び支援係長 中島 裕子 学び支援課副主幹兼指導主事兼社会教育主事 重岡 慎一郎 学び支援課主任主事 大塚 美樹 学び支援課主事 小谷田 宏紀</p> <p>指定管理者2名 中央図書館 高橋氏 有馬図書館 大河原氏</p>
傍聴人数	0名
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 <input type="checkbox"/> 非公開
一部非公開・ 非公開の理由	
議題	(1) えびなっ子ふれあいフェスタ・いきいきシンポジウム について (2) 県社会教育委員連絡協議会地区研究会について (3) 海老名市立図書館について (4) その他
資料	(1) 次第 (2) 席次表、出席者名簿

	<p>(3) えびなっ子ふれあいフェスタ・いきいきシンポジウムについて</p> <p>(4) 令和5年度えびなっ子いきいきシンポジウム(案)</p> <p>(5) 社会教育委員会議 年間予定表</p> <p>(6) 令和6年度 地区研究会の開催について</p> <p>(7) 令和5年度神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会の開催について</p> <p>(8) 海老名市立中央図書館 2023年度事業計画・進捗報告</p> <p>(9) 海老名市立有馬図書館 令和5年度「夏休み期間の児童の図書館利用について」</p>
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

○会議の内容

1 開会	
【事務局】	<p>定刻となりましたので、令和5年度第2回海老名市社会教育委員会議を開会いたします。</p> <p>なお、本日ご都合により、梅崎委員、金指委員、松島委員が欠席でございます。</p> <p>開会にあたり山田議長よりごあいさつをいただきます。</p>
2 あいさつ	
【議長】	(山田議長よりあいさつ)
【事務局】	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、伊藤教育長よりごあいさつ申し上げます。</p>
【教育長】	(伊藤教育長あいさつ)
【事務局】	<p>それでは、これより議事に入ります。</p> <p>山田議長、議事の進行をお願いいたします。</p>
3 議事	
【議長】	<p>それでは、議事を進めさせていただきます。</p> <p>一点目、えびなっ子ふれあいフェスタ・いきいきシンポジウムについて事務局より説明をお願いいたします。</p>
【事務局】	(令和5年度えびなっ子ふれあいフェスタの参加団体・進捗状況、いきいきシンポジウムの内容について提案)
【議長】	事務局より説明がありましたが、まずはえびなっ子ふれあいフェスタの参加団体についてご意見等いかがでしょうか。
【委員】	アンケートにもあったように、えびなっ子ふれあいフェスタでは体験の時間が増えてよかったと思う。いきいきシンポジウムも最後に全体交流の場があるのは、まとまりがあってよいと思う。

【議長】	ありがとうございます。参加団体には参加の意向確認がとれているということで事務局よりお願いいたします。
【教育長】	二胡は子どもたちが自由に触れていい楽器か。
【委員】	大丈夫です。子どもたちも体験しやすいと思う。
【委員】	<p>7月30日に茶道協会がビナレッジで子どもと大人を対象に茶道体験を開催し、大人がメインで茶道の作法を体験した。大人が多かったので、床の間、掛け軸、花器などを用意し、お花の生け方や、お茶やお菓子のいただき方を丁寧に実践した。説明は小学生には少し難しかったかもしれないが、お茶の飲み方、お茶碗の回し方などは小学生も実践することができた。</p> <p>過去に文芸協の中で開催した研修会では、床の間などはない場所だったが、同じような流れで茶筌の回し方などをやった。アンケートも好評だったので、子どもたちも喜ぶと思う。</p>
【委員】	子どもが保育園の時に週1回茶道の体験をした。最初はお菓子目当ての参加だったが、子どもの頃に体験したことがあるかどうかで大人になったときのとっかかりが全然違うと思う。
【教育長】	伝統文化は普段なかなか体験できないから良い機会だと思う。ビナレッジで茶道をやるときに畳はあるか。
【委員】	ビナレッジには玄関と床の間がついた和室がある。窯はコンセントで電気をとって使える。
【議長】	こどもセンターで行う場合は、やり方を工夫する必要があると思う。
【委員】	最近は椅子でやる茶道も盛んになっている。会場によって和室でやったり、椅子と畳と両方を使ったりすることもある。
【議長】	体験ということであれば、すべてを揃えなくてもお茶の流れはできるか。
【委員】	流れとしては、茶筌も余分に用意して、お茶をたてる方は希望者を募り、お菓子とお茶をいただくのは全員が体験することができる。
【議長】	<p>開催の仕方については課題として、事務局で検討していただくようよろしくお願いいたします。</p> <p>続いて、いきいきシンポジウムの流れについてのご意見をお願いいたします。</p>
【委員】	グループの意見交換後の全体交流は、各グループで盛り上がった話題を順番に発表するのか、一つ的话题をさらに全体で意見を出し合うという形になるのか聞きたい。
【事務局】	全グループが発表となると時間がかかってしまうため、他のグループへの質問や、ぜひ共有したいというものを募っていきたいと考えていますが、なかなか出てこないこともあると思うので、くじ引き等で当たっ

	たところに発表してもらおう方がいいかと思っています。その意見を集約しながら、来年度に向けての社会教育計画につなげて、グループの協議を生かしていきたいと考えています。
【議長】	その他ご意見等ないようでしたら、次に進みます。事務局より説明をお願いいたします。
【事務局】	(社会教育委員会議の年間予定について説明)
【議長】	続きまして、県社会教育委員連絡協議会地区研究会について事務局より説明をお願いいたします。
【事務局】	(地区研究会の開催時期、内容について説明)
【議長】	地区研究会についてご意見ございますか。
【委員】	えびなっ子ふれあいフェスタ・いきいきシンポジウムとの合同開催について、他市では合同開催した前例はあるか。なければ合同開催がいいと思う。
【事務局】	合同開催であれば、山田議長より県社会教育委員会の理事会で諮っていただきます。
【委員】	アトラクションの時間はどのくらいか。
【事務局】	各市町村によって異なります。箱根は20分くらいの発表でした。
【議長】	各地区によってアトラクションの流れが異なるので、時間はまちまちでした。案に出ている大谷歌舞伎がどのくらい時間を要するかにもよると思います。
【委員】	過去に歌舞伎の白波五人男を子どもたちだけで演じたことがある。時間はそんなにとらないでできた。
【議長】	今まで見てきた中で大人が発表しているのが多かったので、子どもたちが発表するというのもひとつの案だと思います。
【教育長】	合同開催で土曜日に実施することになれば、子どもたちの参加ができる。子どもたちが地域の中で伝統文化を受け継いでいる姿を発表するのがいいと感じた。こどもの歌舞伎、ささら踊り、日本舞踊などの伝統文化を小学校で触れ、その発表会となればいいと思う。
【委員】	ちょうど大谷小学校で歌舞伎の体験を始めているので、発表に向けて題材を決めて練習していけばできると思う。 私が教えている日本舞踊は、子どもたちにも続けてもらい定着させたいと思い、今年度からは2学年ごとに題材を決め1年を通して取り組んでいくようにしている。子どもたちの発表会とするのであれば、しっかり練習して見せられるようにしていきたい。
【教育長】	子どもたちにとっても発表の場があって、県内の社会教育に携わる人が集まってみんなに見てもらいたいいい機会になると思う。

【議長】	<p>今まで見てきた地区研究会の発表の中で当日のアトラクションとして、子どもたちが出演したものはなかったので、良い案だと思います。</p> <p>それでは、事務局の提案で進めていただくということでよろしいでしょうか。</p>
【委員一同】	(異議なし)
【教育長】	<p>人権についても、子どもたちの人権作文の発表で実施したいと考えているが、社会教育委員さんにも海老名市の取組を説明してもらいたいと思うのでよろしくお願ひしたい。</p>
【議長】	<p>発表する生徒が決まれば、それをサポートしつつ、子どもたちが発表をやることになった経過などもお話したいと思うので、これから考えていきたいと思います。みなさんにもご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、開催方法、内容については以上です。事務局よりお願いいたします。</p>
【事務局】	<p>ご意見いただきありがとうございます。ご意見を形にできるよう調整してまいります。「子どもと大人がともに育つ社会の構築」が海老名市の社会教育の目標となっておりますので、子どもたちが主役になる場面と社会教育委員が主役になってご登壇いただく場面もありますので、よろしくお願ひいたします。これを踏まえまして、今年度開催される寒川町の地区研究会にみなさんで参加することについて、ご意見いただければと思います。</p>
【議長】	<p>今後の参考に地区研究会の流れや進め方、役割分担等も確認していただきたいと思います。日程が合う方はぜひご参加いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
【委員一同】	(異議なし)
【事務局】	<p>それでは、地区研究会の参加を第6回社会教育委員会議として計画いたします。</p>
【議長】	<p>ぜひご参加をお願いいたします。</p> <p>それでは、次に海老名市立図書館について、中央図書館 高橋館長様お願いいたします。</p>
【指定管理者】	(中央図書館 2023年度事業計画、進捗について説明)
【議長】	<p>ありがとうございます。中央図書館の取組みについてご意見等いかがでしょうか。</p>
【委員】	<p>ティーンズ向けの企画で、この世代の方と図書館が一緒になって行うというのが非常に興味深いと感じた。これまでの図書館からの発信だけでなく、学生たちが主体となって企画していき、地域との繋がりを持つことで海老名市の今後に繋がっていくのではないかと思った。</p>

	<p>また、学びの日のイベントについて、対象者の小学校1年生～6年生では少し対象が広いように感じた。1年生にとっては難しく、6年生にとっては興味がないなどの理由で参加しなくなってしまうような気がした。可能であれば、学年を細分化した方が行きやすい形になり、子どもも自信をもって参加できるのではないかと思いますので、ぜひ検討していただきたい。</p>
【指定管理者】	<p>ありがとうございます。アンケートでも同様のご意見をいただいたことがあるので、検討していきたいと思います。</p>
【委員】	<p>作家・著者の講演会について、「文豪と食」や「名画と文学」などの組み合わせをした切り口がとてもいいと思う。最近文章を読むこと自体が苦手な子が多いと感じているので、教科やジャンルを超えていろいろなものと組み合わせることによって、文章が苦手な子にも興味が広がるきっかけになると思う。ぜひ続けてもらいたい。</p>
【議長】	<p>続きまして、有馬図書館 大河原館長様お願いいたします。</p>
【指定管理者】	<p>(有馬図書館 夏休み期間の児童の図書館利用について説明)</p>
【議長】	<p>有馬図書館の取組みについて、ご意見等いかがでしょうか。</p>
【委員】	<p>「行ったら楽しい図書館」というコンセプトは非常にいいと思う。中央図書館は周辺のイベントの帰りに寄っていくことが多い。有馬図書館でもイベントをやることで、地域の人との交流にもなるし、帰りに図書館で本を借りていくきっかけにもなると思う。また中央図書館にはないが、有馬図書館には置いてある本もあるので、そういうところで有馬図書館にも足を運んでくれるように促していくといいと思う。</p>
【議長】	<p>それでは、次にその他としまして、何かございますか。ないようでしたら、これで議事を終了いたします。</p> <p>事務局へお返しいたします。</p>
<h4>4 その他</h4>	
【事務局】	<p>山田議長、議事の進行ありがとうございました。</p> <p>それでは、事務局からの事務連絡です。</p> <p>(県主催研修会、連絡会等について案内)</p>
<h4>5 閉会</h4>	
【事務局】	<p>閉会のごあいさつを橋本副議長からいただきたいと思います。</p>
【副議長】	<p>(橋本副議長あいさつ)</p>